

経頭蓋磁気刺激(rTMS)のうつ病に対する治療効果に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年7月4日～2022年3月31日

〔研究課題〕 経頭蓋磁気刺激による治療抵抗性うつ病の治療と治療反応の予測因子に関する後方視的研究

〔研究目的〕

経頭蓋磁気刺激(rTMS)のうつ病に対する治療効果のメカニズムについて明らかにします。

〔研究意義〕

rTMSがどのようなタイプのうつ病に効果があるのかを予測できるようになる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2013年7月4日から2019年3月30日の間に当院メンタルヘルス科でrTMSを実施された方を対象に、外来や入院診療でカルテに記載されている内容を収集して行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部精神神経科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

患者様の情報は、分析する前に氏名、住所、生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく番号をつけ、誰のものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。なお、本研究に不参加を希望される方は、下記連絡先まで御連絡下さい。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：教授 栃木衛

研究分担者：非常勤医師 井川春樹

所属：医学部精神神経科学講座

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211(代表)〔内線 30351〕